

15日機輸出第137号  
平成15年8月28日

経済産業大臣  
平沼 赳夫 殿

日本機械輸出組合  
理事長 宮原 賢次

### 我が国 FTA と東アジア経済圏形成に関する提言について

わが国機械産業は、GATT/WTOによる多角的な枠組みに加えて、近年、世界的に急増する FTA に対する関心を高めており、現在わが国が交渉中のメキシコとの FTA の早期締結、ASEAN や韓国との FTA 推進による東アジア経済圏形成を強く望んでおります。しかしながら、主としてセンシティブ・セクターである農業問題の扱いに関する意見の相違によってわが国の FTA 締結に向けた動きは抑制されており、わが国の産業競争力が損なわれるという事態に陥っております。

かかる状況において、わが国の機械産業の輸出と海外投資に関する総合的な団体である当組合は、組合員である機械メーカー、商社及びエンジニアリング企業を対象に、FTA に対する日本企業のニーズ、及び東アジアにおける FTA へのわが国の取り組みのあり方についてアンケート調査を実施し、その結果を基に、わが国の FTA 締結と東アジア経済圏形成に関し、別添のとおり提言を取りまとめました。

提言の主旨は、第一に、短期的には、わが国は、日墨 FTA 交渉の一刻も早い妥結を図るべきであり、同時に、東アジア経済圏形成を目指して韓国、タイ、マレーシア、フィリピン、インドネシアの東アジア主要国との FTA を早期に締結する。FTA 締結ニーズが最も強い中国については、当面、WTO 義務遵守要請などにより事業環境の改善を図る。そして、中期的には、中国、EU、ASEAN、米国との FTA 締結の可能性を検討すること。

第二に、わが国の FTA には、関税撤廃、投資自由化の実現はもとより、他のマルチ、リージョナル、バイの規律との併用・組み合わせの下に、日本の産業界にとって十分メリットのある質の高い幅広い構成要素を協定に盛り込むこと。

第三に、わが国の FTA の締結交渉に当っては、日本経済の全体最適を目指して、センシティブ・セクター対策を行う政治的リーダーシップが強く求められること。

政府におかれては、FTA 政策を推進するに当って、本提言に格別のご高配を賜りたくお願い申し上げます。